



きじむんの どう〜ちゅいむにー 文庫紹介編

第12回 宮里政玄文庫 戦後資料

キーワード：宮里政玄 USCAR 関係資料

はいさーい&はいたーい！ きじむんやいびーん。

さて今回は、戦後沖縄に関する資料やその収集にあたった宮里政玄先生を紹介するよ！

・沖縄関係戦後資料について

本館の戦後資料は、国立国会図書館のGHQ/SCAP関係資料の内の沖縄に関する資料の複製本の他、「琉球大学戦後資料収集委員会」が収集した資料等が含まれています。

1969年末に沖縄の返還が決まると、学内で「米国の琉球統治」に関する資料を調査・収集すべきという気運が高まりました。1971年4月に「琉球大学戦後資料収集委員会」が設置され、米国民政府との折衝を開始しました。当初は民政府が保管している秘密文書(国防、軍事、外交関係)以外の副本資料の譲渡や必要資料の複写を行う方向でしたが、アメリカ側の文書処理業務が進んでいく中で、資料の残部が少ないことや、複写についてもアメリカ本国の記録管理所の許可がなければ不可能であることなどが伝えられました。戦後資料収集委員会ではアメリカ側に資料提供と複写についての協力を依頼し、秘密文書以外の琉球大学の希望する資料については複写を行うことが許可され、資料がアメリカに移送される前のわずかな期間でコピーをすることになりました。資料のコピーは3年間で595,000枚におよび、その他民政府より資料が寄贈されました。



戦後資料

これらの資料は製本後、戦後資料として沖縄資料室(閉架)に保管されています。資料の概要は『琉球大学 沖縄戦後資料目録』にて確認することができます。



宮里政玄資料 新聞切抜集

・宮里政玄先生と旧蔵資料について

琉球大学戦後資料収集調査委員会でも委員長を務めたのが、宮里政玄先生です。宮里先生は国際関係論や外交史を担当されていました。1982(昭和57)年3月に琉球大学を退職する際、それまで収集した沖縄関係資料を、後学の研究者のためにと寄贈されました。コレクションの内容は、1942年から1951年までのアメリカ国務省の沖縄関係行政文書や1947年から1960年までの極東軍司令部の「沖縄の軍政計画」に関する資料、又、マッカーサーライブラリーの「G2の報告書」等があります。その他、復帰前後における国際関係の新聞記事のスクラップブックなどの貴重な資料が含まれています。

今年度の「きじむんの どう〜ちゅいむにー」は今回で終了です。次年度も楽しみにしててね！(CT)

参考文献：山田勉「戦後資料収集調査委員会活動概要報告」(館報「びぶりお」, Vol.8(No.4), 琉球大学附属図書館, 1975年), 「宮里コレクションの受贈について」(館報「びぶりお」 Vol.15(No.2), 琉球大学附属図書館, 1982年) 宮里政玄「沖縄戦後資料とわたし」(館報「びぶりお」, Vol.32(No.4), 琉球大学附属図書館, 1999年)